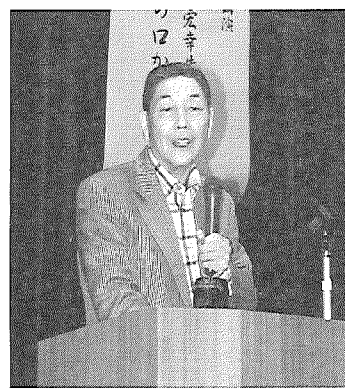


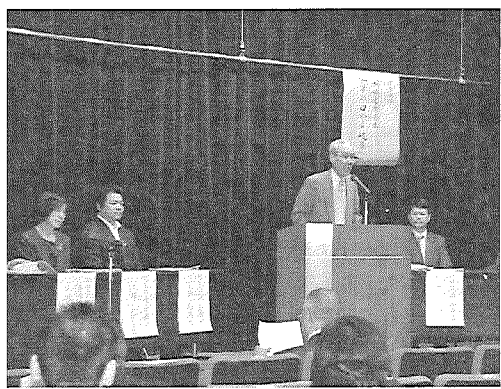
井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
 発行・平成21年4月25日・第3号通信
 責任者・堀 達夫 (井の口まちづくり会会長)
 〒500-8003 岐阜市大宮1-17 ☎058-263-9540
 事務局長・河崎良史
 E-mail・malo@he.mirai.ne.jp

5月17日(日)平成21年度の総会を開催します



昨年は加納宏幸氏が講演



昨年の設立総会の様子

会員の皆様、参加願います

井の口まちづくり会会長 堀 達夫

早いもので、「井の口まちづくり会」も一年を経過し、二年目に入りました。発足当初は地区の皆様方のご理解、ご協力が果たして得られるかどうか不安もありましたが、個人・団体併せて160名余りの参加をいただくことができ、役員一同、大変意を強くして各事業に取り組むことができました。

二年目に入った本年は、前年度に引き続いての諸事業の展開のほかに、特に井の口地区の景観の保全整備問題に取り組んでいく方針です。

かねてより申していますが、このまちづくり会は井の口地区にお住まいあるいはお勤めの方々全員の会であることをモットーとして活動しています。

来る5月17日の総会には、会員の皆様方はもとより新たに当会への参加をご希望される方、一人でも多くお出かけくださいますようお願いいたします。

このまちの現状と未来を共に考えていきましょう。

●日時 平成21年5月17日(日) 午後1時30分～

受付開始は午後0時30分

●場所 歴史博物館 1階講堂

●講演 八神 武夫氏 (元金華小学校校長)

「肌で感じた井の口の魅力」

総会に出席の70歳以上の方、シルバーカードまたは高齢者おでかけカードをご持参ください。受付後、総会が始まるまでのお時間、歴史博物館の展示を見学していただけますようお願いいたします。

総会特別講演 「内容告知」
元金華小学校校長 八神武夫氏

「肌で感じた井の口の魅力」

金華小学校元校長であり、現在は中部学院大学短期大学部講師でもある八神氏は、そのお人柄と親しみやすさから、今でもこの地域の人々との交流が続きます。

総会特別講演の内容は、
1 心のよりどころの岐阜城・金山と住民

2 金華・井の口の歴史に学ぶ
3 金華・井の口の町並みを訪れると：「誇り」を実感して

4 「慈善はまずわが家から」
イギリスの諺である

右の4部構成で進められます。なかでもこの地にゆかりのある織田信長と斎藤道三の信頼関係について、常在寺にある道三と龍興親子画像について、妙照寺からは松尾芭蕉・竹中半兵衛について、正法寺のぎふ大仏、さらには御鯨所跡まで、詳しい資料を提示しながらその人物像や、時代背景を語っていただきます。

八神氏の深い知識と歴史観はもとより、この地に暮らす私たちにとって「井の口の誇り」を実感できる内容です。

「まちの風景検討部会」新設部会メンバーを募集

「金華・井の口マップ」の完成により「わがまちマップ作成部会」は解散することとなり、替わって「まちの風景検討部会」が本年度から活動することになります。新部会では、都市計画道路拡幅の勉強会を実施し、安心して散策できる歩道のあり方などを検証していきます。

また、イベント部会は昨年同様、大仏フェスティバル、岐阜公園イルミネーションへの協力とまちづくり会独自のイベントを実施し、まちの歴史探索部会は歴史勉強会のほか、句会等の実施を行う予定です。広報通信作成部会は引き続き井の口まちづくり会通信の発行をします。

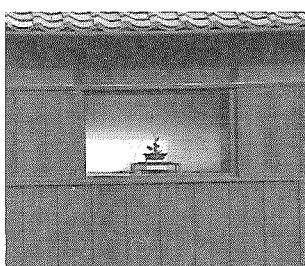
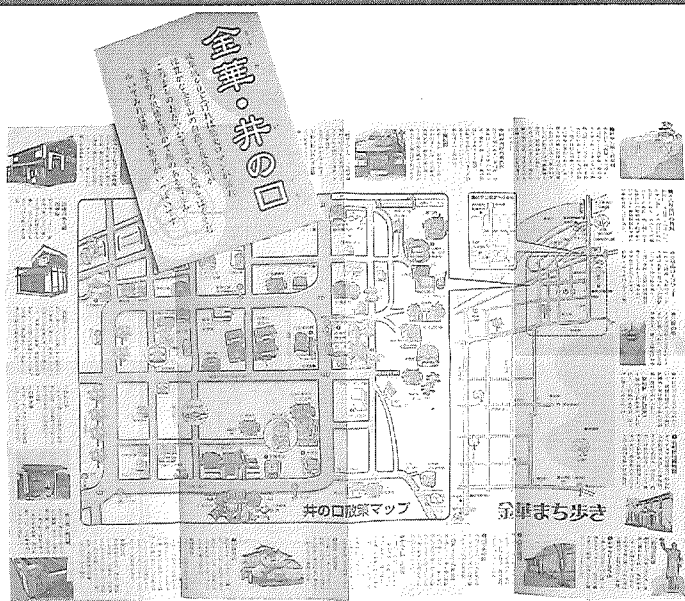
会員の皆様で部会に入りたいだけの方は、総会の受付でお申し出ください。

【昨年度の(部隊)部会メンバー】
(昨年まで部隊としておりました名称を今年度より部会と改めます)

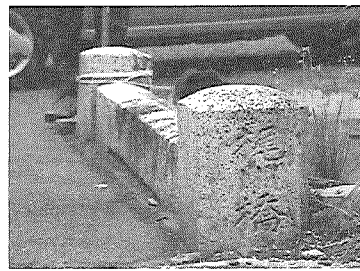
- イベント(部隊)部会
杉山 秀子 (◎) 河崎 良史 (○)
高橋紀久子 高橋かずえ
森 勝彦 後藤 勝利
伊藤いつお 塚原 紀好
- まちの歴史探索(部隊)部会
堀 智仙 (◎) 中村 末雄 (○)
北川 英生 杉山 周三
名和 利夫 安藤 幸延
鷺見 善治 鷺見 玲子
松原 和生 宇野 正雄
塚原 紀好 山下寿太郎
- わがまちマップ作成部会
中村 末雄 (◎) 杉山 範彦 (○)
名和 利夫 松原 和生
森 勝彦 伊藤いつお
- 広報通信作成(部隊)部会
事務局 (◎) 吉田 尚弘 (○)
鈴木芙美子 高橋かずえ
武井 英男
◎はリーダー ○は副リーダー

もうご覧になりましたか？ 井の口マップが 完成しました！

皆さんのお手元にもすでに届きましたでしょうか？ 昨年度のメイン事業であった「金華・井の口マップ」が完成しました。この一年間、歴史勉強会やまち歩きなどで検証をしながら、わがまちマップ作成部会を中心に広報通信作成部会、役員の皆さんと事務局でマップづくりを進めてきました。



わがまちのもてなしの心。飾り窓に生けられた1輪の花が道来る人をお出迎え。



常在寺の西。今も小さな橋の下には梶川堀が流れている。

まちのことを知るほどに再発見の連続であり、脚光を浴びている御鯨街道がこのまちにあった御鯨所から運ばれていたこと、道三が城下町の形を完成させ、梶川堀の西と東で町家と武家屋敷に分けられていたことなど、貴重な歴史資料といえます。

また、美濃和紙と竹を使った伝統工芸を製造するクラフトのまちであり、ギャラリィ・ミュージアムのまちでもあります。

「金華・井の口マップ」は、まちの飲食店、料亭、店舗、ギャラリィ、公共施設等のほか、常在寺・妙照寺・正法寺・ロープウェイなどに置かれ、観光客の皆さんの散策のお役に立つことが目的です。

残部がありますので、ご利用、ご入用の方は、会長または事務局長までお問い合わせください。

この春、妙照寺の土塀を全面的に大改修しています。

みんなでしっくい塗りイベント!

4月 29日 祝

- お天気が晴れなら(雨天中止)
- 小学生以上のお子さんからどなたでも
- 汚れてもかまわない服装で
- 午前9時までに妙照寺西門前に集合



改修前の妙照寺の土塀 (撮影・吉田尚弘氏)

記念に一人「ひと」

このまちの大切な風景として永く親しまれております妙照寺の土塀は、下板塀にところどころ穴が空き、落書きも多く、しっくいも剥がれ落ち、風雨にさらされ汚れておりましたが、現在岐阜市の助言を受けながら改修工事が進められています。

この改修にあたり妙照寺堀住職のご理解と、施工業者田中社寺様のご協力のもと、私たちが自らの手でたとえ「ひとこた」でもしっくい作業に参加できればとの思いからこのイベントを開催します。この土塀や地域への愛着を深めていただければとの考えによるものです。

作業場所は、歩道が狭くバス停もあるため多人数では入れません。10名ずつで「しっくい中塗り」作業を行います。上手にできなくても専門家が仕上げますのでご安心ください。また当日は、吉田尚弘氏による記念撮影を行います。土塀の改修工事は5月末頃完成予定です。

井の口まち歩き開催

少し寒さを感じる11月24日(祝)、8時30分の受付開始にすでに待っている人影が。お目当てはスタンプ前にある「木挽き太鼓の会」の皆さんによる演奏のようです。

いなせなバチ打ち姿の子供たちとご婦人たちが並び、いざ演奏が始まると道行く人が足を止め、皆さん大拍手でした。そのお陰か公園を訪れた神戸からの観光客もまじ歩きに飛び入り参加しました。

当日は3コースに分かれ、まちの歴史探索部隊のメンバーが主に説明をしながら、決められたルートを案内していきました。

参加者は、梶川堀や梶川橋の城下町での役割を知り、かつて江戸の将軍様へ献上をしていたという御船所のあった場所に立って、にぎやかだった商家の風情を想像したり、まちの歴史の深さに新たな発見をしていきました。

常在寺、大仏の正法寺では無料観覧であるうえ、ご住職のお話まで聞かせていただき、妙照寺では芭蕉が滞在したお部屋でお話を聞かせていただけて、近くに住んでいながら入ったこともなかったと感激する参加者もいました。

今年も「井の口まち歩き」を実施する計画です。歴史を知ること、このまちのお宝探しをするまち歩きもいいですね。



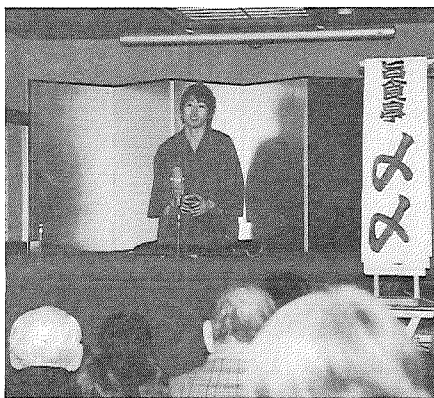
木挽き太鼓の演奏前にコースを説明

井の口寄席を開催

大学生・大学院生が落語の腕を競う選手権「第6回策伝大賞」に参加するため、2月21・22日の両日、全国から落語好きの学生が集結しました。「遠くから岐阜市にやって来る学生たちに、一席でも多く高座に上がってもらいたい」というぎふ町家情報バンクの呼びかけに応じ、妙照寺会館において22日(日)、「楽笑楽座・井の口寄席」を夕方6時より開催しました。

参加学生は8名と1組。客席は地元の人たち60名以上が詰めかけて満席状態、伊奈波の善光寺と同時間開催・共通チケット(300円)ではありましたが席を立つ人もなく、終始大きな笑いに包まれました。

休憩時間には、イベント部隊のメンバーと婦人会有志の手による豚汁が振る舞われ、寒い夜の温かさも感じられました。



三番目に高座に上がった旨食亭メメさん

会費納入のお願い

昨年3月に設立して以来一年が経過いたしました。会員も徐々に増えてきましたが、さらに多くの方の入会をお待ちしています。

会員の皆さま、今年度の会費徴収を総会受付にて行いますので、恐縮ですがご用意をお願いします。会費は、個人年会費1口500円、団体年会費1口千円です。

事務局だより

事務局長 河崎良史

「井の口まちづくり会」が発足して一年が経過しました。そしてその間に多くの収穫がありました。この一年の間に、私が感じた思いを書き連ねてみます。

多くの方々を知り合うことができました。また、多くの方々の温かい心に触れることができました。

まち歩きやマップ作業を通して新しい発見がありました。伝統工芸店からミニクラフト店など文化のまちを知り、歴史の深さも知りました。

織田信長の足跡はよく知られていますが、勉強会を通して斎藤道三の偉業に触れることができました。斎藤道三のまちづくりが今も生きていくことを知りました。

ほかにも多くの発見がありました。事務局としては反省点もありますが、会員の把握の不徹底。事務連絡の不手際など。この場を借りてお詫び申し上げます。

また、今後の課題として多くの会員が参加できる企画の立案や、情報の伝達に努め、会員の皆さんの参加意識を高めていきたいと考えます。

ぎふ景観まちづくりファンドのお知らせ

- 町家など歴史的建造物の維持や復元工事に最高で200万円
- 一般建造物を歴史的町並みに調和させる工事に同150万円
- ※歴史的建造物の外装工事に併せた構造補強工事や空家利用のための水道管施設工事に補助金が出ます。
- 平成20年～22年度の重点取り組み期間中は、助成率は3分の2。格子や建築設備への目隠しについては10分の9です。このファンドを利用すれば、少ない自己負担で外観工事が行えます。
- 詳しくは、岐阜市にぎわいまち公社・Tel/Fax266-1377へ